



2021年5月12日

各位

会社名 タカセ株式会社
代表者の役職名 代表取締役社長 大宮司 典夫
(JASDAQ・コード9087)
問合せ先 常務取締役管理本部長
笹岡 幹男
(TEL. 03-3571-9497)

業績予想の修正および減損損失(特別損失)の計上についてのお知らせ

当社は、2021年3月期の連結会計年度において、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年11月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績を修正することといたしました。また、下記のとおり減損損失(特別損失)を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(単位：百万円)

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	7,300	130	150	70	70.43
今回修正予想(B)	7,520	183	218	80	80.50
増減額(B-A)	220	53	68	10	—
増減率(%)	3.0	40.8	45.3	14.3	—
(ご参考)前期実績(2020年3月期)	7,622	169	182	98	99.03

修正の理由

2021年3月期下期におきましては、営業収益は、上期に引続き個人向け通販関連業務取扱が拡大したことに加え、主要顧客の配給邦画のヒットにより国内業務取扱量の増加が見られたことから、前回発表予想を上回る見込みであります。

また、利益面につきましては、先述のとおり営業収益が増加したことのほか、各営業所において取り組んできた原価率改善施策の効果が徐々に見えてきたことから、同予想を上回る見込みであります。

なお、次項2「減損損失(特別損失)の計上について」のとおり、2021年3月期の連結会計年度末において減損損失を特別損失に計上することとなりました。

以上の結果、営業収益は、前回発表予想数値に対して、2億20百万円増(3.0%)の75億20百万円、営業利益は、同予想数値に対して53百万円増(40.8%)の1億83百万円、経常利益は、68百万

円増（45.3％）の2億18百万円となる見込みであります。さらに、親会社株主に帰属する当期純利益は、10百万円増（14.3％）の80百万円となる見込みであります。

2. 減損損失（特別損失）の計上について

当社の札幌営業所、福岡営業所および国際業務部におきまして、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、取扱業務量の減少等による収益力の低下を招いたことから、減損の兆候が認識されたため、札幌営業所の土地について46百万円、福岡営業所の建物附属設備について4百万円、国際業務部のソフトウェア等について6百万円、あわせて58百万円の減損損失(特別損失)を当連結会計年度末において計上することといたしました。

（ご留意事項）

上記の業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断した一定の前提にもとづいたものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上